



# EXPO 2005 AICHI だより No. 9

2000年(平成12年)6月8日号

検討会議は、報道陣を含み完全公開で開催されました。



5/28

## 愛知万博検討会議(海上地区を 中心として)が始まる。

地元関係者、自然保護団体、有識者等が参加。公開で行い、幅広い合意形成をめざす。

地元関係者、自然保護団体や有識者等で構成される「愛知万博検討会議海上地区を中心として」(以下、会議)というが始まりました。5月28日の第1回会議では、委員長に谷岡郁子氏(中京

女子大学学長)、副委員長に森島昭夫氏(名古屋大学名誉教授)が選出され、海上の森での愛知万博開催に向けた基本的考え方などについて、活発な意見交換が行われました。

この会議は愛知万博の開催に向けて、会場候補地でもある愛知県瀬戸市南東部(海上地区)等の活用に向けた基本的枠組みを整理し、博覧会協会が行う会場計画策定作業等の指針を示すことを目的として、幅広い観点から合意形成を図りつつ審議をしていきます。

この会議の設置に当たっては、4月4日に、国(通商産業省)、愛知県、博覧会協会の3者で公表した「海上の森の博覧会」の場をめぐり、博覧会協会のホームページにてインターネットによる会議の中継が行われました。

この会議は愛知万博の開催事業及び地域整備の基本的方向について(詳細は2ページと、4月28日の、世界自然保護基金日本委員会、日本自然保護協会、日本野鳥の会を加えた6者での意見交換会の合意詳細は3ページ)を踏まえたものです。

### ご意見を募集します

なお、博覧会協会では愛知万博検討会議の設置に伴い、同会議に対するご意見募集コーナーを設置しました。これは、広く市民のご意見を反映させるため、氏名等をはじめ、原本をそのまま会議の場に提出していただきます。ご意見の提出方法は、郵便、FAX、博覧会協会のホームページ(<http://www.expo2005.or.jp/jp/news/kaisyoken.html>)で募集し、その際には住所/氏名/表題/意見内容/電話番号/e-mailアドレスを明記してください。

なお、詳細については、博覧会協会のホームページをご覧ください。

### CONTENTS

- 愛知万博検討会議が始まる..... ①
- 国・愛知県・博覧会協会が見直し案に合意..... ②
- 愛知万博をめぐる最近の会議について..... ②
- シンボルマークが決定..... ④
- 「Lantern Caf 螢」公開... ⑥
- ドイツ・ハノーバー国際博覧会が開幕..... ⑦
- EXPO2005トピックス..... ⑧

### 愛知万博検討会議の委員名簿

(委員数:28名)/敬称略

#### ○地元関係者

- 伊藤 保徳  
未来創造・21世紀と市民の会
- 井戸田 幸子  
日本EVクラブ愛知
- 木村 光伸  
2005年日本国際博覧会推進  
瀬戸地区協議会
- 國分 孝雄  
EXPO2005地球市民の会

- 戸田 敏行  
夢倶楽部
- 藤原 歳久  
EGN(エキスポ・グローバル・ネットワーク)
- 前田 裕子  
万博と暮らしを考える長久手町  
民の会
- 山田 治義  
山口地域まちづくり協議会
- 山本 和甫  
長久手町商工会

#### ○自然保護団体

- 上杉 毅  
海上の森世界遺産登録推進  
協議会
- 宇佐見 大司  
愛知万博の環境アセスメントに  
意見する市民の会
- 加藤 徳太郎  
海上の森を守る会
- 草刈 秀紀  
財団法人 世界自然保護基金日  
本委員会
- 古南 幸弘  
財団法人 日本野鳥の会

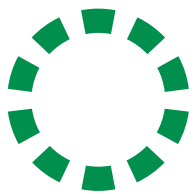
- 高垣 英明  
日本野鳥の会愛知県支部
- 辻 淳夫  
藤前干潟を守る会
- 森山 昭雄  
国営海上の森里山公園構想を  
すすめる連絡会
- 吉田 正人  
財団法人 日本自然保護協会

#### ○有識者

- 糸魚川 淳二  
名古屋大学名誉教授
- 島津 康男  
名古屋大学名誉教授
- 谷岡 郁子(委員長)  
中京女子大学学長
- 林 進  
岐阜大学農学部教授
- 森島 昭夫(副委員長)  
名古屋大学名誉教授
- 鷲谷 いづみ  
東京大学大学院農学生命科学  
研究科教授

#### ○博覧会協会企画運営委員

- 隈 研吾  
会場計画プロジェクトチーム
- 武内 和彦  
環境プロジェクトチーム
- 萩原 喜之  
環境プロジェクトチーム
- 森川 高行  
観客輸送プロジェクトチーム



決定作品

## 2005年日本国際博覧会

# シンボルマークが 決定しました

詳細は  
4・5  
ページ

# 海上の森の博覧会事業及び地域整備の基本的方向について公表。

深谷隆司通商産業大臣、神田真秋愛知県知事及び田章一郎博覧会協会会長の3者が4月4日に会談を行い、左記のとおり、海上の森の博覧会事業及び地域整備の基本的方向について合意し公表しました。

## 1. 会場計画について

(1) 海上の森については、南地区の中に、自然環境の保全に最大限の配慮を払いながら、「自然の叡智」というテーマを具現化するシンボルゾーンとしての会場を整備することを目指す。

## 2. 地域整備について

(1) 新住宅市街地開発事業は行わない。また、名古屋瀬戸道路及び若宮八草線についても、現在申請中の都市計画の認可申請を取り下げる。

## 3. 会場間の道路等について

海上の森南地区と愛知青少年公園の両会場を結ぶための道路については、既存の道路の拡幅及び一部道路を新設することにより両会場の連絡を図ることとし、早急に関係者で具体的作業を進める。また、愛知環状鉄道

というテーマにふさわしい博覧会の実現ということを中心とした地区の将来の地域整備としては、博覧会施設の活用も含め、自然環境や生物多様性などに係る研究や教育を行う施設、自然と共生するライフスタイルを体験できる施設や陶芸を楽しむ施設などを設置したり、あるいは公園として整備することなど様々なことが考えられる。これらも念頭に、今後海上の森を保全、活用するためにはどのような仕組みはどのようなものにしたら適当であるかなどについて、地元関係者、自然保護団体や有識者等の意見を幅広く聞きながら今後検討を進める。

についても、観客輸送を円滑に行う観点から、早急に関係者で具体的作業を進める。

## 4/12

### 自民党及び超党派の推進議員連盟総会で、愛知万博の協力を要請。

「自由民主党2005年日本国際博覧会推進議員連盟」と21世紀万国博覧会推進議員連盟の総会がそれぞれ4月12日、東京都内で開かれました。

両総会の中で、豊田章一郎博覧会協会会長は、4月4日に深谷隆司通商産業大臣、神田真秋愛知県知事との間で海上の森の博覧会事業及び地域整備の基本的方向について合意したことを報告し、11月ないし12月のBIE総会での登録承認を目指し、国・愛知県等の関係者の方々と、より一層の連携を図り、また地元関係者、自然保護団体や有識者などの方々のご意見にも耳を傾けながら、全力をあげて取り組んでまいり、覚悟です」と述べました。そして、推進議員連盟の方々に對して、力強い協力と支援を要請しました。

## 4/6

### 環境プロジェクトチームが、パンフレットを制作。

環境PTでは、青少年公園地区(愛知青少年公園、科学技術交流センター)への会場拡大を受けたこれまでの検討経過について、広く皆様にお知らせするため、パンフレットを制作し公表しました。海上地区、青少年公園地区の会場計画を考慮したフィールド活用、エネルギーシステム、ゼロエミッション各部会の検討状況、今後の検討内容などが見やすく整理されています。



# 愛知万博検討会議に向けて。

5月6日に行われた検討会議の趣旨説明会。

## 4/13

### 第12回企画調整会議を開催。

愛知万博の全体計画などを検討する企画調整会議が4月13日に開催され、今後の進め方について以下のように確認しました。

会場計画プロジェクトチーム(PT)、観客輸送PT及び環境PTの3PTの合同PT、ワーキンググループ(WG)を開催し、迅速な検討に努める。12月の登録を前提とし、今夏には申請を行う必要がある。

## 4/18

## 4/20

## 4/28

### 自然保護3団体との意見交換会で、愛知万博検討会議について合意。

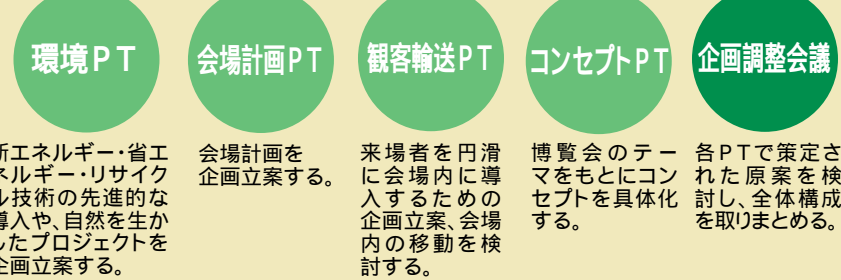
国(通商産業省)、愛知県、博覧会協会と、世界自然保護基金日本委員会、日本自然保護協会、日本野鳥の会は、実務レベルでの意見交換会

を行い、次のような合意に達しました。「合意事項」1. 会議の名称は「愛知万博検討会議(海上地区を中心として)」とし、市民参加による合意形成を図るものとする。

2. 委員については、地元関係者、自然保護団体、有識者等のパランスに配慮しつつ、愛知万博のあり方に対する明確なビジョンをもった人を選ぶ。博覧会協会は、事務局を務める。

## プロジェクトチームが今後の進め方を検討。

会場計画・環境・観客輸送の3つのプロジェクトチームは合同会議を開催し、次のように今後進めていくこととしました。海上の森の使い方については、検討会議での議論が重要である。会場計画・輸送計画・環境計画については、様々な具体的な検討が必要になるので、検討会議と十分な連携を図る。



## 5/6

### 地元市民団体へ検討会議の趣旨を説明。

博覧会協会は、4月28日の自然保護3団体との意見交換会で合意した「愛知万博検討会議(海上地区を中心として)」の趣旨説明会を行い、地元市民団体等のメンバーが多数出席されました。

1. 会議の名称は「愛知万博検討会議(海上地区を中心として)」とし、市民参加による合意形成を図るものとする。2. 委員については、地元関係者、自然保護団体、有識者等のパランスに配慮しつつ、愛知万博のあり方に対する明確なビジョンをもった人を選ぶ。博覧会協会は、事務局を務める。

3. 会議の場を万博のプロセスにきちんと位置付け、段階的に合意形成を図る。4. 第一段階の会議の場における議論の重点は、博覧会における海上地区の位置付

## 3/21

### 第8回理事会・評議員会を開催。

博覧会協会では、3月21日に第8回理事会・評議員会を開催し、平成12年度の事業計画・収支予算について承認を得ました。

建設事業では会場全般の施設と観客輸送施設、供給処理施設などの基本設計を行うとともに、これら施設の施工方法などについて検討を進めていきます。

## 平成12年度事業計画

また、BIEの登録承認、資金募集、シンボルマークの

## 平成12年度予算

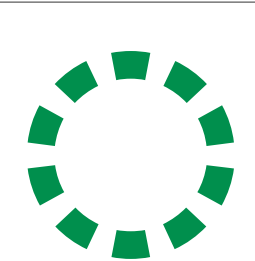
予算総額は、91億44百万円で、11年度予算と比較すると25億52百万円の増加となっています。

普及促進、ハノーバー国際博覧会での広報活動、海外招請など、博覧会の開催に向けた本格的な対応を展開していきます。

# シンボルマークが決定。

昨年9月からシンボルマークを制定するために「国際指名コンペティション」を実施してきましたが、このたび指名デザイナーから提出された40作品の中から、大貫卓也氏の作品に決定しました。そして3月21日に公表しました。

## マークが決定するまで 市民審査を実施



決定作品

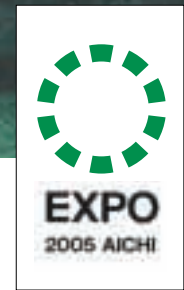
シンボルマークの制定では市民参加型という考えから、公開セッション(討論会)を、名古屋

と東京で開催しました。そして「国際指名コンペティション方式」により、国内外合計10名の気鋭のデザイナーを選出。提出された40作品については、審査委員会にて、3回の審査を重ねました。また、東京・名古屋の「公開セッション」での参加者を対象に市民審査(投票)も実施。最終的に大貫卓也氏の作品を採用することを決定しました。

## 決定作品と制作デザイナーについて

### 決定作品について

高度成長期の大阪万博は誰もがイケイケのお祭りだった。そのシンボルとしての赤い桜のマークもそれを体現してハマっていた。今回のEXPOはとも意識のあるEXPOだと思っ。その意志をマークで体現したいと思っ。このマークはATTENTIONである。従来のマークの象徴性だけでなく機能を持たせた。これはいわばコンピュータについての「人」と同じ意味を持つ。広告活動においても単なるマークでなくキャラクターとしての機能も持つ。21世紀のEXPOとはいえず。まだ始まったばかり。必ずしも答えが出せる場ではないだろう。新世紀へ向けての実験の場である。このEXPOのマークはふさわしい。この見飾り気のない即物的マークが実はミッドモダン新しい「ミニマリズム」である。



## カウントダウンボードが新マークでリニューアル

新しいシンボルマークの決定にともない、名古屋駅と東京・渋谷駅にあったこれまでのカウントダウンボードをリニューアルしました。



名古屋駅・名駅の豊田ビル西側壁面。



東京・渋谷駅八チ公口地下街入口。

名古屋駅・栄のジェット口輸入車ショールーム西側(広小路通沿い)に設置されたシンボルマークの塔。

## シンボルマーク等の使用について

シンボルマーク、ロゴマーク、キャッチフレーズ(一般表記)以下(マーク等)は、愛知万博に対する理解と協力をいたいただくために広く使用することができます。マーク等の乱用を避け、正しく使用していただくために、手続き、使用方法などを次のようにまとめました。(注)一般表記とは、2005年日本国際博覧会の正式名称、愛称、略称などを言います。

### 使用にあたって

愛知万博のマーク等に関する一切の権利は、(財)2005年日本国際博覧会協会に属しておりますので、使用される場合は、必ず承認を受けてください。

### お問い合わせ

(財)2005年日本国際博覧会協会 シンボルマーク受付係  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-15-1  
名古屋タイヤビルディング  
2号館4階  
052-569-2105

## ホームページをリニューアルしました。

インターネット・ホームページアドレス  
<http://www.expo2005.or.jp>

「EXPOの耳」Eメールアドレス  
[voicebox@expo2005.or.jp](mailto:voicebox@expo2005.or.jp)

博覧会協会では、公式Webサイト(インターネット・ホームページ)をシンボルマークの正式決定に合わせて、3月21日リニューアルいたします。ここでは、博覧会についてのニュースやトピックス、インフォメーション、愛知万博開催に向けたさまざまな取り組みや、博覧会協会の概要などの最新情報を紹介しています。また、EXPOの耳のコーナーでは、みなさんのご意見やアイデアなどを幅広く募集しています。リニューアルされた公式ホームページをぜひご覧になってください。

## シンボルマーク制定までの流れ

第2回デザイン専門委員会 [1999/5/11]

・シンボルマーク制定に向けての枠組みを審議...一般市民の意見も踏まえて進める。

シンボルマーク公開セッション[名古屋:5/23][東京:6/5]

・「シンボルマークのあり方」について、デザイン専門家と一般市民参加の公開討論...意見の大勢は「一流のプロが作る必要がある」。  
・名古屋(500名参加)と東京(300名参加)で実施。

第3回デザイン専門委員会・アドバイザー合同会議 [7/21]

・制作方針の策定...国際指名コンペ方式  
・審査委員会委員(9名)および指名デザイナー候補者(10名)の選出。

第1回審査委員会 [9/21]

・コンペ応募要項、審査方法・基準、報道発表資料等の審議・確認。

国際指名コンペ開始 [9/28]

・報道発表...10名のデザイナーにコンペ応募要項を送付。  
・9名のデザイナーから合計40作品の応募。(1名は途中辞退)

第2回審査委員会 [11/10](第1次審査)

・40作品について各委員が投票。・得点上位の作品について審議し、11作品を選出...商標先願調査開始。

市民審査 [東京:11/20,21][名古屋:11/27,28]

・11作品について、参加者が投票。  
・公開セッション参加者を対象に東京・名古屋で実施。

商標先願調査 [12/1]

・11作品について、2分類(イベント、印刷)で過去の類似作品がないことを確認。

第3回審査委員会 [12/3](第2次審査)

・市民審査の結果報告を受け11作品について各委員が投票。  
・得点上位の作品について討議し、4作品を選出。  
・4作品について各委員が投票。  
・投票結果を審議し、委員会としての推薦順位を決定。

幹部会 [12/14]・審査委員長より審査委員会の結果について報告。  
・内定作品について了承。

商標登録 [~3月]

・国内および海外での商標登録に向けた作業開始。

理事会・評議員会 [2000/3/21]

・審査の経緯について報告。・シンボルマークについて最終承認。

記者発表会[2000/3/21]

・理事会承認後、報道発表。

シンボルマークデザインコンペ指名デザイナー

青木克憲(アートディレクター)  
伊藤豊嗣(グラフィックデザイナー)  
大貫卓也(アートディレクター)  
蔡國強(現代美術家・中国 途中辞退)  
原研哉(アートディレクター)  
日比野克彦(アーティスト)  
フィリップ・アペロウグ(グラフィックデザイナー・フランス)  
前田ジョウ(グラフィックデザイナー・米国)  
森万里子(アーティスト)  
山内瞬葉(グラフィックデザイナー)

シンボルマーク審査委員

永井一正(審査委員長(社)日本グラフィックデザイナー協会会長)  
伊藤俊治(多摩美術大学教授)  
岡本滋夫(名古屋造形芸術大学教授)  
河原敏文(コンピュータグラフィックス・デザイナー)  
隈研吾(建築家)  
黒田真(財)2005年日本国際博覧会協会事務総長)  
佐藤晃一(グラフィックデザイナー)  
中沢新一(中央大学総合政策学部教授)  
山本容子(版画家)  
(敬称略/審査委員長以外は五十音順)



# ドイツのハノーバーで 国際博覧会が開催中。

6/1 ▶ 10/31

再生紙を利用して建てられた日本のパビリオン。写真提供(株)坂茂建築設計

## ドイツへのルートと 所要時間

日本からドイツへの直行便は、ルフトハンザ・ドイツ航空、日本航空、全日空の3社が運航しています(2000年6月現在)。成田空港からルフトハンザ・ドイツ航空が週10便、日本航空が週7便、全日空が週6便。名古屋空港からルフトハンザ・ドイツ航空が3便。関西空港からルフトハンザ・ドイツ航空が週7便、日本航空が週3便、全日空が週2便。所要時間は約12時間。



## ハノーバー市

ドイツの北西部にある、人口53万人の美しく清潔な町。国際見本市の開催地として世界的にも有名です。各都市からの交通アクセスも便利ですが、“緑の肺”とも呼ばれるように、町の3分の1以上は公園などの緑化地帯になっています。



ハノーバー国際博覧会の公式マスコット、トゥイプシー。

**世界最大規模の紙のパビリオンを出展**  
ドイツで開催中の2000年ハノーバー国際博覧会に日本は日本貿易振興会(ジエトロ)が公式機関として参加し、日本館を出展しています。  
この日本館は、再生紙からできた「紙管」を建材とするパビリオンとして建築されました。紙を建材とするパビリオンは、博覧会史上初の試みで、世界最大規模のもので、紙管はリサイクルペーパーで作られ、

**多彩な催事を開催**  
そしてジャパンデーは7月25日。ジャパンデー公式催事では、日本の響きと躍動をテーマに掲げ、和太鼓と津軽三味線、尺八、ドラムによるライブ感あふれるセッションを展開するほか、女性舞踏グループによるパフォーマンスを行います。

## テーマパビリオン地区

世界の芸術家や建築家が、娯楽性に富んだ作品を通して博覧会のテーマを発信。

## 西パビリオン地区

日本館など、アジア各国のパビリオンが集まる出展ゾーン。また、ロックやクラシックのコンサート、花火大会などもこの地区で開催されます。

## スカイウォーク

ここは、ICE(新幹線)が停車するラーツェン駅と、万博会場を結ぶ連絡通路です。



## エキスポプラザ

各国のナショナルデーの会場となるエリア。ジャパンデーもここで開催されます。このプラザに面して、デザインセンターやディスコ、レストラン、ドイツ館などもあります。

## 東パビリオン地区

ヨーロッパ各国のパビリオンやアラブ首長国連邦、アメリカ館などが集まる出展ゾーンです。

# 2000年ハノーバー国際博覧会に日本館出展

## 世界最大規模の紙のパビリオンを出展

パビリオン解体後も再びリサイクルされます。  
「Lantern Car 螢」を展示

ハノーバー博の日本館では、「Lantern Car 螢」を展示

また、ジャパンデーと閉幕日には、博覧会会場を走ることも予定されています。

また、ジャパンデーと閉幕日には、博覧会会場を走ることも予定されています。



## 1 モデル制作

電気自動車「RAV4L EV」を原型モデルに、1/5のハーフクレイモデルを制作。



## 2 アウター制作

トヨタテッククラフトで、基本的な外装を制作する。



## 3 和紙の装着

楮(こうぞ)でできた手漉きの和紙を、ベースの型に張りつける。



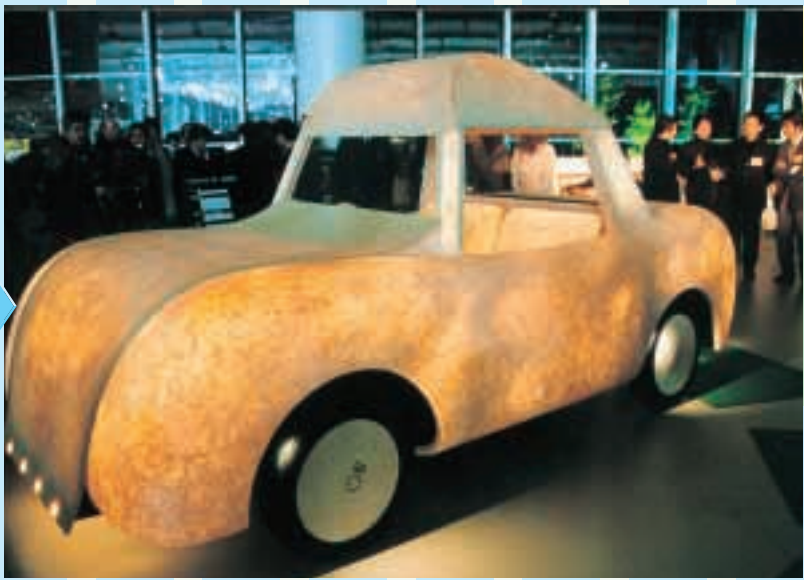
## 4 光源の収納

照明は豊久将三氏の設計。光源器をトランクに収納する。



## 5 ついに完成

約1年の歳月をかけて、ついに完成した和紙の自動車。



## 6 行灯と螢

螢のような光が、行灯のように内側から優しくもれる。

Lantern Car “螢”ができるまで

## 1 モデル制作

電気自動車「RAV4L EV」を原型モデルに、1/5のハーフクレイモデルを制作。

博覧会協会は、和紙で包まれた電気自動車へ名称「Lantern Car 螢」ランタンカーほたる(この完成を記念して、博覧会開幕5年前にあたる3月25日、東京都江東区のパレットタウンにあるトヨタシティショウケースで、報道機関に公開しました。  
この車は、ドイツ・ハノーバー博で愛知万博をPRするために制作したもので、版画家の山本容子氏が発案し、全体のアートワークスを担当しています。  
この車はトヨタ自動車が開発した電気自動車「RAV4L EV」が原型モデルとなっていて、その表面は中部地区・福井県武生市にある工房で漉かれた100%天然素材を原料とする和紙でおおわれています。  
千年以上の歴史を持つ伝統工芸品の和紙と、最新の技術的成果のひとつであり21世紀のゼロエミッションビークルとして期待の高い電気自動車を組み合わせることで、人と自然の新しい関係を追求する愛知万博を表現します。

そして「螢」の内部には、名前のとおり照明が取り付けられていて、点灯すると和紙を通した柔らかな光が車両全体を光らせます。それは行灯のようにつつましくも、しかもしっかりとした光で、自然環境との新しい関係作りを模索する人類にとつての希望の灯火を意味しています。

Lantern Car “螢”  
車両データ  
全長 / 3,880mm  
車幅 / 1,770mm  
車高 / 1,870mm  
重量 / 1,683kgs

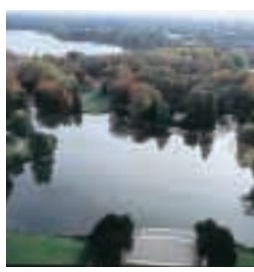
制作関係者(敬称略)  
アートワークス 山本容子(版画家)  
和紙制作 堀木エリ子(和紙ディレクター)  
照明設計 豊久将三(ライティング・アーキテクト)  
車体制作 小原敏夫(トヨタテッククラフト)

## 瀬戸市でも一般市民に公開。

5月3日から5日までの3日間、瀬戸市文化センターで一般に公開されました。公開初日の3日午前10時30分からは、オープニングセレモニーが行われ、増岡錦也瀬戸市長、林聰瀬戸市議会議長、安井俊夫博覧会協会事務次長、加藤庄右2005年日本国際博覧会推進瀬戸地区協議会会長の4氏による除幕式のと、一般に公開されました。会場には大勢の人々が訪れ、和紙でできたユニークな車と紙を通してもれる柔らかい光に見入っていました。  
主催 瀬戸市/博覧会協会/2005年日本国際博覧会推進瀬戸地区協議会



ハノーバー市有数の観光スポット。1934年に完成した周囲6.4キロメートルの人工湖で、ジョギングや冬のスケートなどに利用されています。7~8月には6週間にわたってマッシュ湖祭りが開かれ、ピヤカーテンやダンスなどで大にぎわい。北岸にはシュプレングル美術館があります。



マッシュ湖

## ハノーバー市の名所

1913年に建てられたルネッサンス様式の風格のある市庁舎は、市民にとってのシンボルでもある名所。エレベーターを使って高さ100メートルのドームに上れば、ハノーバー市街の景色がながめられます。建物の内部には、町の歴史を伝えるジオラマやレリーフなどが飾られています。



ハノーバー市庁舎

**2000年ハノーバー国際博覧会の概要**  
正式名称 2000年ハノーバー国際博覧会(EXPO2000,HANNOVER)  
開催期間 2000年6月1日(木)~10月31日(火)153日間  
開催地:ドイツ連邦共和国 ニーダーザクセン州ハノーバー市  
会場規模:総面積160ha (ハノーバー国際見本市会場の90haを含む)  
開催機関:ハノーバー国際博覧会公社  
基本テーマ:「人間・自然・技術」  
出展団体:192の国・地域、国際機関が公式参加予定  
ホームページアドレス: <http://www.expo2000.de>

撮影/安藤 公 写真提供/German Impressions 2000

## EXPO 2005 トピックス



「あーっ、下から水が出てきた」

### ♡ 仮想空間への招待。

愛知万博の開幕までちょうどあと5年になった3月25日から4月9日までの16日間、愛知青少年公園(愛知県長久手町)で子どもたちを仮想空間へと招待する博覧会協会の主催イベント『世界の木霊』が開催されました。



「木霊の森」

愛知万博では、最新の情報通信技術を使うことで、森の中で入場者に音や映像の空間を楽しんでもらう構想があり

### ♡ 自然から学んだ

#### 『里山エコスクールin中山の森』

小学校高学年を対象にした里山環境学習プログラム、第2回「里山エコスクールin中山の森」が、4月16日に瀬戸市中山町の東公園(中山の森)で開かれました。

今年2月の第1回目に続く当日は、公募によって参加した小学校5年生と6年生の約40名、大学生のリーダー8名、そして指導員の方が参加しました。

午前中は、「水源を探せ」。谷で流れの形跡を見つけ、スコップで水源場所を掘り、わき水を調査しました。午後は、森の成り立ちを知る。自然観察指導員の方といっしょに、巻き尺や赤白ポールなどを使用し、森の地形を測って林相図を形成しました。

主催/博覧会協会



博覧会ツギあたる愛知万博のPRコーナー。

### ♡ 春の祭典で万博をPR、EXPO2005スプリングフェスタ。

4月16日に瀬戸市で、愛知万博を応援する春の祭典「EXPO2005スプリングフェスタ」が開催されました。当日は、陶祖まつりとも重なり、会場となった瀬戸市市民会館は、終日大勢の人々でにぎわいました。

会場では愛知万博のPRと、地元瀬戸市の特産品である陶磁器やふるさとの特産品などを展示。またホールではアニメ映画の上映会や、名古屋出身の人気俳優である加藤晴彦さんのトークショーが開かれました。

主催/2005年日本国際博覧会推進瀬戸地区協議会



「神話への旅」

### ♡ 平成の時代絵巻 第6回「春姫道中」に参加。

尾張藩の初代藩主・徳川義直の正室・春姫の嫁入りを再現する「春姫道中」が、4月16日に行われ、春姫に続き、古式ゆかしい隊列で熱田神宮から名古屋城までを練り歩く春姫道中は、今年で6回目を迎えます。

春姫道中は、戦災で焼失した名古屋城の本丸御殿の再建を目指す市民グループ「本丸御殿フォーラム」が実施している市民手作りの歴史まつりです。今回は義直の生誕400年にあたることもあって、



「春姫道中」に参加した万博隊。

### ♡ 『国際環境展』に出展。

国内外の環境関連の製品と技術を一堂に展示し、循環型社会の構築を広く人々に紹介する「国際環境展」が、東京江東区の東京ビッグサイトで4月13日から4月16日まで開かれ、博覧会協会もブースを出展、5万人を超える人々にPRを行いました。

主催/東京国際見本市協会

インターネットホームページアドレス  
<http://www.expo2005.or.jp>  
 「EXPOの耳」Eメールアドレス  
[voicebox@expo2005.or.jp](mailto:voicebox@expo2005.or.jp)

発行/財団法人2005年日本国際博覧会協会  
 発行日/2000年(平成12年)6月8日  
 責任編集/楠本 孝 部数/130,000部

名古屋事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目15-1 名古屋ダイヤビルディング2号館4階  
 Tel.052-569-2005 Fax.052-569-2100

東京事務所 〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1-1 飯野ビル7階  
 Tel.03-5521-1601 Fax.03-5521-1607

この印刷物は、再生紙(古紙含有率100%)を使用しています。

クイズ 6月1日からドイツの〇〇〇〇で国際博覧会が開催されています。この〇に入る文字は何でしょう。

アンケート Q1「EXPO2005だより」の入手先 Q2「EXPO2005だより」についての感想、要望

あて先/〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目15-1 名古屋ダイヤビルディング2号館4階 (財)2005年日本国際博覧会協会「EXPO2005だより」係 締切/平成12年6月30日(金) 当日消印有効 抽選で30名の方に記念品をプレゼントします(発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます)。

答えのわかった方は、はがきに クイズの答え 住所 氏名 年齢 電話番号 アンケートの回答を記入し、上記のあて先までどうぞ。 EXPO 2005 AICHIだより 2000.6.8